



講師のモハン・パテルさん

今回はケベック州投資公社駐日代表のモハン・パテルさんに、フランス語文化圏のカナダ東部・ケベック州について、日本語でお話いただきました。

ケベック州の地理から産業、文化、四季、食べ物、、、などバラエティ豊かに充実した90分。参加者の方から質問が相次ぎ、それに答えながらお話しが深く広がっていきました。現在、モントリオールは航空産業とテレコミュニケーション関係の産業がとても盛んだそうです。

ケベック州を訪れるならモハンさんのお勧めは夏。寒い冬を過ごしたケベックの街は、夏を楽しむウキウキした雰囲気満ちているとのことでした。有名ミュージシャンの演奏も街の中で聴けるモントリオール・ジャズフェスティバルや、ファンにはたまらないF1レース。もちろん紅葉の美しいメープル街道を訪ねる秋や、ウィンター・カーニバルの冬、そしてメープルシロップの採れる春も魅力満載とのこと。アンケートにも「ケベック州に行きたくなりました。」という声がありました。



旧市街が世界遺産になっているケベック・シティ

ケベック生まれのプーティンは、フライドポテトにチーズとグレービー（肉汁の）ソースをかけたもの。ちょっとカロリーは気になるものの、とてもおいしいそうです。一度、食べてみたくまりました。



「北米のパリ」と呼ばれるケベック州最大の都市モントリオール

場所：岩間市民プラザ 3階
レクチャールーム
日時：平成23年12月4日(日)
10:00~11:30
参加費：500円（紅茶とお菓子付）